

研究成果情報	園芸	26	果樹	育種
新技術・情報名	ぶどう新品種「宝満」の育成		分類	①

## 1. 成果の内容

### 1) 技術、情報の内容及び特徴

本県で広く栽培されていた「キャンベル・アーリー」よりも大粒で糖度が高く、しかも食味及び肉質は「巨峰」に類似して良好、なおかつ「巨峰」よりも豊産性で生産が安定している「宝満」を育成した。

- (1) 樹勢はやや強く、樹冠の広がりや「キャンベル・アーリー」よりやや小さい。登熟は容易である。テレキ5BB台で中～強の台負けがある。
- (2) 果房は円錐形であり、大きさは300～400gで、着粒程度は密で、外観は優れている。
- (3) 果粒の形は短楕円。果粒重は平均8gで「キャンベル・アーリー」より大きい。果皮色は紫黒色で、剥皮は容易で、肉質は中間、狐臭があるが少ない。果汁の糖度は17～18%で「キャンベル・アーリー」よりも高く、酸含量は約0.4%と少ない。食味は「キャンベル・アーリー」よりも優れ、「巨峰」に似る。果実の日持ちは中位である。
- (4) 熟期は育成地の雨よけ栽培で8月下旬、「巨峰」と同一の熟期である。
- (5) 施設下の通常の防除管理では、これまで目立った病害の発生は認められず、生理障害の発生も認められない。

### 2) 技術、情報の適用効果

品質も良好で、しかも生産性が高いため、品質的に劣る「キャンベル・アーリー」、「マスカット・ベリーA」等に替わる簡易被覆によるトンネル栽培用品種として普及することが見込まれる。

### 3) 適用範囲

耐寒性は比較的強く、九州から東北地方のぶどう栽培地帯に適する。

### 4) 効果の利活用・普及指導上の留意点

1 結果枝当りの花房数が3～4個と多く、着果過多とならないように注意を要する。大房にすると糖度が低下するので、350g程度にとどめる。収穫期を過ぎると裂果しやすくなるので、適期に収穫する。

## 2. 具体的データ

表1 育成経過

交配母本	キャンベル・アーリー
交配父本	マスカット・オブ・アレキサンダー
交配年次	昭和49年
選抜年次	昭和58年
系統適応性検定試験	昭和63年～平成3年
農林登録	平成4年

表2 宝満と対照品種との果実特性の比較（平成2～3年の平均）

項目	宝満 <sup>1</sup>	キャンベル・アーリー <sup>2</sup>	マスカット・アーリー-A <sup>2</sup>	巨峰 <sup>1</sup>
収穫期	8月下旬	8月中旬	9月中旬	8月下旬
果形	短楕円	円	円	逆卵形
果皮色	紫黒色	紫黒色	紫黒色	紫黒色
肉質	中間	塊状	塊状	中間
糖度	17.1%	13.0%	17.0%	18.1%
酸度	0.39%	0.77%	0.81%	0.60%
果房重	349g	251g	394g	357g
果粒重	8.6g	5.7g	7.8g	13.0g
裂果性	少	なし	なし	少

注) ①雨よけ栽培、②長梢剪定<sup>1</sup>、短梢剪定<sup>2</sup>

## 3. その他特記事項

担当部科室名：園芸研究所 果樹部 果樹品種研究室

研究担当者名：松本亮司・能塚一徳・鶴 丈和

研究課題名：温暖多雨地帯における施設ぶどう育種

期 間：昭和49年～平成3年

予算区分：指定試験

既発表論文・資料名等：福岡県農業総合試験場研究報告B-12

取りまとめ責任者名：松本亮司